

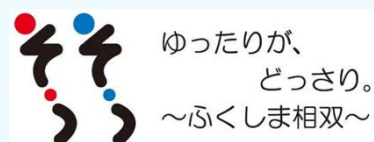


平成 27 年度

相双地域医療体験研修(夏期)実施報告

平成 27 年 8 月 26 日(水)~28 日(金)

福島県相双保健福祉事務所





## 目次

- 1 実施要領 … 1
- 2 日程表 … 2
- 3 視察先マップ … 3
- 4 オリエンテーション … 4
- 5 かわうち草野心平記念館の見学 … 5
- 6 川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」 … 6  
及び川内高原農産物栽培工場の視察
- 7 医療従事者等との懇談会 … 7
- 8 地域住民との交流・ボランティア活動 … 8
- 9 公立相馬総合病院の視察 … 9  
臨床研修医との懇談会
- 10 相馬市沿岸部津波被災地の復旧状況 … 10  
及び相馬市伝承鎮魂記念館の視察
- 11 KJ法によるグループワーク（宿所） … 11
- 12 課題研究・発表（宿所） … 11
- 13 相馬市内の視察（百尺観音・道の駅そうま） … 12
- 14 参加者の声 … 13

# 1 実施要領

## 1 研修の目的

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域の医療や復興の現状について、医療機関や被災地の視察及び地域住民との交流等を通して、理解を深めてもらう。

## 2 開催日

平成27年8月26日(水)～28日(金)〔2泊3日〕

## 3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生 17名

## 4 研修内容

### (1) 地域医療現場の視察

地域医療の現場の視察を通して、被災地における医療の現状と課題等について学ぶ。  
(視察先：川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」、公立相馬総合病院)

### (2) 医師や臨床研修医等との懇談

医師や臨床研修医等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。(視察先：川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」、公立相馬総合病院)

### (3) 地域住民との交流

仮設住宅等に入居する被災者との交流を通して、被災地の現状について理解を深める。(視察先：南相馬市社会福祉協議会主催の仮設住宅サロン)

### (4) 被災地の復興状況と地域の歴史と文化の視察

被災地の現状と復興への取組状況を視察するとともに、地域の歴史と文化を学ぶ。  
(視察先：かわうち草野心平記念館、川内高原農産物栽培工場、相馬市沿岸部津波被災地、相馬市伝承鎮魂記念館)

### (5) 課題研究・発表

あらかじめ提示した課題について研究する。また、研修を通して学んだことや考えたことをまとめ発表する。

## 5 宿泊場所

いわなの郷コテージ(川内村)、なぎさの湊「夕鶴」(相馬市)

## 2 日程表

月日	時間	内容	場所
8/26 (水)	9:30~10:30	オリエンテーション	福島県立医科大学
	10:30~12:00	昼食(車内)、移動	川内村
	12:00~13:00	かわうち草野心平記念館の見学	
	13:30~17:00	川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」 及び川内高原農産物栽培工場の視察	
	18:00~20:00	医療従事者等との懇談会(いわなの郷)	
		宿泊: いわなの郷コテージ(川内村内)	
8/27 (木)	8:15	宿所発	
	10:00~11:15	地域住民との交流・ボランティア活動(南 相馬市社会福祉協議会主催仮設サロン)	南相馬市
	11:30~12:15	昼食(南相馬市内)	
	13:00~15:00	公立相馬総合病院の視察 臨床研修医との懇談会	相馬市
	15:30~17:00	相馬市沿岸部津波被災地の復旧状況及び 相馬市伝承鎮魂記念館の視察	
	17:20~18:50	KJ法によるグループワーク(宿所)	
		宿泊: なぎさの湊 夕鶴(相馬市内)	
8/28 (金)	8:30~12:00	課題研究・発表(宿所)	相馬市
	12:15~13:00	昼食(相馬市内)	
	13:15~14:00	相馬市内の視察(百尺観音、道の駅そう ま)	
	14:00~16:30	移動・解散	福島市





## 4 オリエンテーション（福島県立医科大学）



松本純弥 助教



☆**福島県立医科大学**  
**医療人育成・支援センター**  
住所：〒960-1295  
福島市光が丘1番地  
TEL：024-547-1047

地域医療体験研修の開始にあたり、福島県立医科大学において、研修の趣旨、日程、研究課題等についてオリエンテーションを行いました。また、翌日の仮設サロンに備えて、血圧測定の方法を練習しました。（説明：同大学松本助教）

## 5 かわうち草野心平記念館の見学



☆かわうち草野心平記念館

住所：〒979-1201

双葉郡川内村大字上川

内字早渡 513

TEL : 0240-38-2076

かわうち草野心平記念館では、草野心平の詩集等の資料を見学しました。天山文庫は当時の趣を残しており、心平の愛した川内村の自然・歴史に触れることができました。



## 6 川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」 及び川内高原農産物栽培工場の視察



山崎 聡 所長



☆川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」

川内村子民健康保険診療所

住所：〒979-1202

双葉郡川内村大字下川内字坂シ内  
133-5

TEL : 0240-38-2941

「ゆふね」では、国保診療所の診察室を見学した後、山崎所長からは、地域医療に従事する医師の実状等について、川内村保健福祉課猪狩主幹からは、震災時の保健活動等について、川内村保健福祉課古内課長からは村の復興状況や課題について講話をいただきました。また、川内高原農産物栽培工場では、工場職員の方から野菜の栽培方法や食の安全の取組等のお話を伺いました。



## 7 医療従事者等との懇談会（いわなの郷）



遠藤雄幸 村長



☆幻魚亭「いわなの郷」

住所：〒979-1200

双葉郡川内村大字上川内字炭焼場  
516

TEL：0240-38-3511

いわなの郷「幻魚亭」で、川内村遠藤村長や猪狩副村長、古内保健福祉課長、山崎所長、古内歯科長に参加いただき、川内村の医療の現状や復興の取組について意見交換し、懇談しました。

## 8 地域住民との交流・ボランティア活動

(南相馬市社会福祉協議会主催仮設サロン)



☆高見町第一応急仮設住宅集会所

住所：〒975-0033

福島県南相馬市原町区高見町

2丁目24-7

南相馬市原町区にある高見町第一応急仮設住宅集会所で、血圧測定や健康相談を通して、被災した地域住民の方々と交流しました。



## 9 公立相馬総合病院の視察 臨床研修医との懇談会



熊川宏美 院長



鳥羽直弥  
臨床研修医



福永久典  
臨床研修医



☆公立相馬総合病院

住所：〒976-0011

相馬市新沼字坪ヶ迫 142

TEL : 0244-36-5101

公立相馬総合病院では、熊川院長から病院の現状や取組、臨床研修プログラムの特徴等について講話をいただきました。臨床研修医（2名）との懇談会では、地域医療に携わるきっかけや医師を目指す上での心構えなどをお聞きしました。その後、病院内を視察しました。



## 10 相馬市沿岸部津波被災地の復旧状況 及び相馬市伝承鎮魂記念館の視察



### ☆相馬市伝承鎮魂記念館

住所：〒976-0021

相馬市原釜字大津 270

TEL : 0244-26-4848

相馬港湾建設事務所職員の説明を受けながら、相馬市松川浦沿岸部の復旧状況を視察しました。また、相馬市伝承鎮魂記念館では、震災被害の大きさが分かる資料や津波映像などを見学しました。

## 1 1 KJ法によるグループワーク（宿所）



「地域の医師不足解消の処方箋」をテーマに、「KJ法」というカードを用いて考えをグループ分けする方法により、グループごとに考えをまとめ発表しました。

## 1 2 課題研究・発表（宿所）



大谷晃司 教授

☆なぎさの湯「夕鶴」

住所：〒975-0022

相馬市尾浜字追川 147

TEL : 0244-38-7111

「今回の研修の感想」と「地域医療に必要とされる医師」をテーマに、学生一人一人から、プレゼンテーションを行いました。活発な意見交換が行われ、それぞれの発表の後、県立医科大学大谷教授が講評を行いました。



### 1 3 相馬市内の視察（百尺観音、道の駅そうま）



#### ☆百尺観音

住所：〒979-2522

相馬市日下石字高根沢 686

TEL : 0244-35-2902

#### ☆道の駅「そうま」

住所：〒979-2522

相馬市日下石字金谷 74-1

TEL : 0244-37-3938

百尺観音・道の駅そうまを視察し、地域の歴史や特産品について理解を深めました。



## 14 参加者の声

### 体験談①

相双地区の地域医療体験研修は、今回で3回目の参加となりました。自然が豊かな相双地区での研修は、学ばせてもらうことが多く、得た知識が将来役に立つと思い、参加しています。今回の研修でも多くの方々と交流して意見を交換したり、「地域医療の一役を担う」ことについて自分なりの考えをまとめることができました。

川内村や相双地区の方たちは、震災を乗り越え、得た教訓を胸に刻み、これからの課題を解決し、よりよい地域にしていこうと考える方々が多くみられました。このような方々と出会い、今の自分に足りないものは「目標の設定」だと感じました。現在のことだけでなく、将来の自分を見据えて、学ぶべきことや経験しておくべきことに取り組んでいきたいです。研修に参加する度に、自分の目指す医師像の輪郭がはっきりしてきた気がします。今回出会った先生方の地域医療に対する熱心さを感じ取ったからだと思います。今回出会った医師の方々が、自分自身の将来の姿であるかもしれないので、少しでも近づけるように、これからの学生生活を勉強や体力作りをして有意義に過ごしていきたいです。

KJ法（グループワーク）で班に分かれて意見を出し合ったとき、他の班員の意見に驚かされてばかりでした。地域医療の発展には1人の考えだけでなく、大勢の意見を聞いてそれらを統合して初めて成り立つと思います。これからも多くの方々と交流をして意見を交換し合い、「地域医療」に対する自分なりの考え方を深めていきたいです。

課題研究では、毎回緊張して早口になってしまうことを、慣れることで改善していこうと思いました。大勢の前で自分の意見を伝える機会は今後の人生で多々あると思います。人の意見を聞くこと、自分の意見をしっかりと伝えることは医師になる上でも、生きていく上でも重要なスキルです。自分なりの目標や課題の克服を視野に入れ、学んだことを今後の生活の役に立てていきたいです。本当にありがとうございました。

（福島県立医科大学4年）

## 体験談②

地域医療に関して、皆さんはどのようなイメージをお持ちですか？

「総合内科」、「田舎」、「医者が少なくて大変だ」、などなど様々なイメージを持っていると思います。そのようなイメージは正しいのかどうか学ぶ機会として、この地域医療体験研修はとても有効です。

川内村の診療所には、常勤の医師が 1 人しかいませんでした。卒後 9 年目の若い先生でしたが、とても生き生きと仕事をなさっていました。地域の方々から信頼される医師はとてもやりがいのあるものだな、と感じました。私もそのような医師になりたいと強く思いました。常勤医が 1 人だけの診療所だと、「責任が重い」、「代わりがないので休みが取れない」など、ネガティブなイメージがありましたが、それ以上にとてもやりがいのある職場だということを感じました。

仮設住宅の訪問も大変印象に残りました。私は今まで何度か仮設住宅を訪れたことがありますが、今回訪れた仮設住宅の住民の方々は特にお元気でした。みなさんとても前向きでした。しかし、お話を聞いてみると、仮設住宅の生活のストレスで病気になってしまった知り合いがいるという方もおり、なかなか大変そうだと思います。私の周りでは、震災は過去のものというイメージが強いですが、相双地方はそんなことはないと思いました。

また、公立相馬総合病院では研修医の方々とお話しする機会がありました。年齢が近い研修医の方々とお話しするのは大変勉強になりました。私も数年後には研修医になるので、今回のお話しはとても参考になりました。

この研修に参加できて大変よかったと思っています。大学の講義では学べない、貴重な経験がたくさんできました。皆さんも是非参加してみてください。きっと世界が広がりますよ！

(福島県立医科大学 4 年)

---

---

平成27年度

平成27年9月

## 地域医療体験研修（夏期）実施報告

編集・発行

福島県相双保健福祉事務所 総務企画部総務企画課

〒975-0031 南相馬市原町区錦町1丁目30番地

電話 0244-26-1326

FAX 0244-26-1332

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21160a/>

E-mail ([sousou.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp](mailto:sousou.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp))

---

---